

令和7年度 学校経営計画書

石川県立工業高等学校

学校長 居村 吉記

1 教育目標

- ① 工業技術者としての誇りを持ち、創造力と実践力を兼ね備えた人間を育成する。
- ② 自己の行動に責任を持ち、広い視野に立って正しい判断ができる人間を育成する。
- ② たくましい身体と健全な精神を堅持し、試練に耐えて困難に立ち向かう人間を育成する。
- ④ 郷土石川の自然や文化に愛着を持ち、地域社会に貢献できる人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 国内有数の歴史と伝統を有し、産業を支える有為な人材を県内外に輩出しており、明るく活力ある校風で本県工業教育の中心校である。
- ② 専門教育による工業技術と伝統工芸の継承者育成に加え、現代社会の諸課題に対応できる思考力・判断力・表現力を育むことが求められている。
- ③ 中学生の数的減少と普通科志向が高まる中で、本校の魅力やものづくりの楽しさを地域へ積極的に発信し、さらなる志願者数を確保することが課題となっている。
- ④ 地元企業との連携を重視し地域のニーズに的確に応える就職指導と、高い専門性と創造力を育む進学指導の両面をさらに推進する必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 職業人としての誇りとともに、安全管理を含めた高い規範意識を持ち、新時代の工業技術者としての基礎技能と実践力を育む。
- ② 社会の変化や産業の動向に対応し、コミュニケーション能力を発揮して協働的に課題に挑戦する姿勢を身に付ける。
- ③ 生涯にわたり学び続ける、その基盤として健康な身体の保持増進にも努め、社会人・職業人として備えるべき人間力を高める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学科、学年、部活動の連携を強化し、共通理解のもと全校一丸となった指導体制で教育活動にあたる。
- ② 本校の使命とビジョンを明確化し、地域社会のニーズに応える学校づくりを通して、教育力向上の努力を継続する。
- ③ 一人一台端末の効果的な活用や生徒の主体的な学習活動を支援することで授業への参加意識を高める。
- ④ 教職員が協働して心身ともに健康で明るく生き生きと活力に満ちた職場環境の構築を目指す。

3 今年度の重点目標

- ① 1人1台端末の活用法も含め、常に指導の工夫・改善を継続することにより、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向け、思考力、判断力、及び実社会で求められるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、厳密で公正な学習成果の評価を行う。
- ② 規律遵守やマナー向上を図る取り組みを通して、地域を担う職業人として高い規範意識を備えた生徒を育成する。
- ③ 専門的技能の習得をはじめ、資格取得や検定、コンテストに意欲的に取り組み、確かな進路実現につなげる。
- ④ 学校行事や部活動等を通してたくましい心と体を培うとともに、周囲と協働して取り組む意識を高め、社会性の向上を図る。
- ⑤ 学校として、業務負担の平準化を意識する共通認識のもと、組織的に風通しよく効率的な業務遂行に努める。